

VI 高齢者の居住状況

1 単身高齢者世帯

— 最低居住水準未満の世帯は1.1% —

平成5年の単身高齢者世帯（65歳以上）27,800世帯について、居住水準の状況をみると、「最低居住水準未満の世帯」は300世帯で、全体の1.1%と低率を示している。所有の関係別にみると、「持ち家」では、「最低居住水準未満の世帯」は100世帯で、「持ち家」に居住する単身高齢者世帯22,000世帯の0.5%、「借家」では、200世帯で、「借家」に居住する単身高齢者世帯5,800世帯の3.4%となっており、「借家」において高率を示している。

表6-1 単身高齢者世帯の居住水準

(世帯)

	最低居住水準		都市居住型誘導居住水準		一般型誘導居住水準	
	水準以上	水準未満	水準以上	水準未満	水準以上	水準未満
総数	18,100	300	700	600	12,500	4,600
持ち家	13,900	100	100	—	11,500	2,400
借家	4,200	200	600	600	1,000	2,200

— 「居室数4室以上」は69.8% —

単身高齢者世帯（65歳以上）27,800世帯について居室数をみると、「4室」が6,200世帯と最も多く、全体の22.3%を占めている。所有の関係別にみると、「持ち家」では「4室」、「借家」では「2室」が最も多くなっている。1世帯当たりの居室数は、「持ち家」では5.12室、「借家」では3.03室となっている。

表6-2 単身高齢者世帯の居室の状況

(世帯)

	居室数						
	1室	2室	3室	4室	5室	6室	7室以上
総数	300	3,400	4,700	6,200	5,100	3,800	4,300
持ち家	100	1,200	2,900	5,200	4,700	3,600	4,300
借家	200	2,200	1,800	900	400	200	100

	1世帯当たりの 居室数(室)
総数	4.68
持ち家	5.12
借家	3.03